

府下精神科病床への入院患者数（入院前住所が大阪市の患者）

入院患者総数	3,417人
内) 1年以上の入院患者数	1,773人
内) 寛解・院内寛解者数（※）	122人

（※）寛解：

- 家族の受け入れ困難や生活の場の困難などの社会的要因により退院できないでいるもの
- 最小限の服薬は続けているが、社会生活上の支障は認められず、自立して生活できると予測されるもの

院内寛解：

- 院内の保護的環境においては、日常生活に問題はないが、一般社会においては不適応、症状増悪、再燃を起こしやすいもの
- 社会技能訓練等の包括的なリハビリテーション・プログラムにより、ある程度の自立性が期待できるもの

退院阻害要因から見えてきた課題 ～1年以上の入院患者で寛解・院内寛解者 122人の状況～

カテゴリー	退院阻害要因	寛解	院内寛解
病気に関すること	病状は落ち着いているが、時々不安定	1	24
	病識がなく通院服薬の中断が予測される	3	22
	反社会的行動が予測される	0	5
本人の気持ちに関すること	退院意欲が乏しい	5	30
	現実認識が乏しい	1	28
	退院による環境変化への不安が強い	2	17
支援者に関すること	援助者との対人関係がもてない	1	2
	家族がいない、本人をサポートする機能が実質ない	2	15
	退院に向けてサポートする人的資源が乏しい	2	8
	退院後サポート・マネジメントする人的資源が乏しい	1	7
地域での生活に関すること	家事（食事、洗濯、金銭管理など）ができない	0	25
	住まいの確保ができない	2	30
	生活費の確保ができない	0	4
	日常生活を支える制度がない	1	3
医療体制に関すること	救急診療体制がない	0	1
	住所地と入院先の距離があり支援体制をとりにくい	1	0
その他	家族から退院に反対がある	2	30
	その他の退院阻害要因がある	1	5

（重複回答あり）

考えられる問題

必要な関り・支援

